

**令和6年度
川崎市相談支援従事者初任者プレ研修
神奈川県相談支援従事者初任者研修(川崎市)
受講者募集のご案内**

川崎市相談支援従事者初任者プレ研修 神奈川県相談支援従事者初任者研修(川崎市) 受講者募集のご案内

神奈川県相談支援従事者初任者研修(川崎市) 受講者募集のご案内

受講者募集のご案内

※本年度は「令和 6 年度川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修」（以下、初任者プレ研修）と「令和 6 年度神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）」（以下、初任者研修）の 2 研修をまとめて受講者募集いたします。初任者研修受講には、初任者プレ研修の受講が必須となります。

※初任者プレ研修のみ受講希望の場合は、個人での申込みが可能です。

※本研修の講義部分に関しては、youtube および（特非）日本相談支援専門員協会の e-ラーニングシステムを使用した動画配信にて実施をいたします。

- ・ 日 程
 - ①初任者プレ研修 10月8日（火）～10月29日（火）
講義1日間分（動画配信）＋ 演習1日間（10月29日）
 - ②初任者研修 10月30日（水）～令和7年1月29日（水）
講義2日間分（動画配信）＋ 演習5日間
- ・ 募集人数 定員 78名
- ・ 受講料 計 10,500円
(内訳：初任者プレ研修 2,500円、初任者研修 8,000円)
- ・ 申込方法 インターネット上の専用申込フォームより申込み後、
「法人内受講希望者優先順位確認書」を郵送にて提出。
- ・ 募集期限 令和6年9月20日（金）17時まで

※各研修の詳細・スケジュール等は次頁以降をご覧ください。

【問合せ】

(福)川崎市社会福祉協議会 総合研修センター 電話：044-223-6509

もくじ

該当ページ

①川崎市相談支援従事者初任者プレ研修実施要領	2～4 ページ
------------------------	---------

②神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）実施要領	5～8 ページ
----------------------------	---------

③初任者プレ研修・初任者研修 共通事項

・受講者の推薦・申込みについて	9 ページ
-----------------	-------

・受講者の決定について	10 ページ
-------------	--------

・その他の注意事項	10 ページ
-----------	--------

・研修全般に関する問合せ先	11 ページ
---------------	--------

・研修会場のご案内	11 ページ
-----------	--------

・法人内受講希望者優先順位確認書	12 ページ
------------------	--------

・（参考）相談支援専門員の実務経験要件	13～15 ページ
---------------------	-----------

① 令和 6 年度 川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修 ～障害のある方に関わるうえで大切なこと～ 実施要領

1 目 的

障害者総合支援法に基づく相談支援に従事するために神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）の受講を希望する者等が、基本的な相談支援に関する知識や技法、相談支援に必要なとなる職業倫理や価値等について学ぶことを目的として実施いたします。

なお、この研修は、神奈川県から川崎市が委託を受けた「相談支援従事者等養成・確保推進研修」として実施するものです。

2 実施主体等

（１）川崎市

（２）運営主体 社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 総合研修センター

3 日程

講義（動画配信）１日分と、演習（集合研修）１日で構成されています。

- ・講義（動画配信）：令和 6 年 10 月 8 日（火）～10 月 28 日（月）の期間中に配信動画視聴
- ・演習（集合研修）：令和 6 年 10 月 29 日（火）9：30～17：00

4 講師

駒澤大学 文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 佐藤 光正 氏

5 演習会場

総合研修センター研修室（詳細は 11 ページ目を参照）

6 研修カリキュラム

4 ページ目「川崎市相談支援従事者初任者プレ研修カリキュラム（予定）」のとおり

7 定員

78 名（定員を上回る募集があった場合は、選考により受講者を決定いたします。）

8 受講対象者

次の（１）から（５）のいずれかに該当する方

- （１）指定相談支援事業者（指定特定、障害児、指定一般）において相談支援専門員の業務に従事するために、令和６年度神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）を受講予定の方
- （２）相談支援に従事する川崎市職員
- （３）障害福祉に従事している者
- （４）障害福祉に関心がある介護保険従事者、ケアマネジャー、高齢者施設職員等、行政職員
- （５）その他、市が必要と認める者

【お申込みされるすべての方への留意事項】

- （１）本研修は川崎市内に所在地を置く事業所・施設等に勤務されている方のみを対象としています。
- （２）資格を取得するための研修ではないため、修了証書は交付されません。
- （３）本研修は、川崎市計画相談支援体制強化事業費補助金（※）における交付要件「川崎市が実施する相談支援従事者研修」に該当します。

«川崎市計画相談支援体制強化事業費補助金とは・・・»

指定特定相談支援事業所等の拡充に向け、所定の交付要件を満たした指定特定相談支援事業所もしくは指定障害児相談支援事業所に対し、新たに配置した常勤専従の相談支援専門員１名につき１３０万円を上限に補助するものです。

概要は、「障害福祉情報サービスかながわ（ＵＲＬ <https://shougai.rakuraku.or.jp/>）」の「書式ライブラリ」→「３．川崎市からのお知らせ」→「１．川崎市からのお知らせ」に掲載予定です。

9 受講料

受講料は**2,500円**です。（支払方法等詳細は、受講決定通知とともにご案内します。）

※ 神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）の受講料（8,000円）と共にお支払いいただきます。

※ 交通費等その他経費については自己負担となります。

川崎市相談支援従事者初任者プレ研修 カリキュラム（予定）

日 程	動画 No.	内 容
講義動画配信 10月8日(火)～ 10月28日(月)	1～3	川崎市の相談支援体制について
	4	【価値】意思決定支援について
	5	【知識】障害者福祉を取り巻く条例や法律の理解

日 程	時 間	mi n	内 容
演習日 10月29日 (火)	9:30～9:35	5	事務連絡
	9:35～12:00	145	【技術】本人中心支援・ケアマネジメント 実践 前半 ※適宜小休憩あり
	12:00～13:00	60	昼休憩
	13:00～16:50	230	【技術】本人中心支援・ケアマネジメント 実践 後半 ※適宜小休憩あり
	16:50～17:00	10	事務連絡

※カリキュラム及び時間を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

② 令和 6 年度 神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）実施要領

1 目 的

障害者総合支援法に基づく相談支援に従事する者が、地域の障害者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援等の援助技術を習得することを目的として実施いたします。

また、障害者総合支援法に基づく指定特定支援事業所において相談支援専門員として従事する職員を養成します。

2 実施主体等

（１）実施主体 川崎市

（２）運営主体 社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 総合研修センター

3 日程及び会場

全 7 日間（動画配信講義 2 日間分、演習 5 日間）

※本研修受講には令和 6 年度川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修の受講が必須となります。

※ 1・2 日目の講義はインターネットで映像を視聴する（特非）日本相談支援専門員協会の e-ラーニングシステムを使用し実施致します。定められた期間内に動画を視聴し、課題提出をもって出席といたします。e-ラーニングシステムを使用するに際し、受講者に ID とパスワードを発行するため、（特非）日本相談支援専門員協会へ受講者名簿（受講者のお名前とお申込み時にご記入いただくメールアドレス）を提出させていただきます。

内容・日数		日にち	会 場
動画配信 講 義	2 日間分	令和 6 年 1 0 月 3 0 日（水） ～ 1 1 月 1 8 日（月）	指定の期間内に配信講義を受講し課題提出
演 習	1 日目	令和 6 年 1 1 月 1 9 日（火）	総合研修センター 研修室 住所：川崎区日進町 5 - 1 川崎市複合福祉センターふくふく 2 階
	2 日目	令和 6 年 1 1 月 2 0 日（水）	
実 習	約 4 週間	【相談支援実習①】実習ガイダンス後、各受講者が支援対象者を設定し課題を作成する。	
演 習	3 日目	令和 6 年 1 2 月 2 6 日（木）	総合研修センター 研修室
実 習	約 4 週間	【相談支援実習②】実習ガイダンス後、各受講者が支援対象者を設定し課題を作成する。	
演 習	4 日目	令和 7 年 1 月 2 8 日（火）	総合研修センター 研修室
	5 日目	令和 7 年 1 月 2 9 日（水）	

4 研修カリキュラム

「令和6年度神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）カリキュラム」（8ページ目）のとおり

5 定員

78名（定員を上回る募集があった場合は、選考により受講者を決定いたします。）

6 受講対象者

次の（１）から（３）いずれかに当てはまる者

- （１）申込時点において、川崎市内に所在する指定一般相談支援事業所、指定特定相談支援事業所又は指定障害児相談支援事業所で相談支援専門員として業務を予定している者、もしくは川崎市内に開設予定の上記事業所で相談支援専門員として業務を予定している者
- （２）障害児者等の相談支援業務に従事する市職員
- （３）その他、市が必要と認める者

- ・ 上記要件に加えて「令和6年度川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修～障害のある方に関わるうえで大切なこと～」の受講修了が必須となります。過年度のプレ（基盤）研修を修了されている方も、再度今年度の研修をご受講ください。必ず初任者プレ（基盤）研修の実施要領もご確認ください。

【留意事項】

- （１）**2日間分の動画配信講義、及び5日間すべての演習を受講可能で、利用者の同意のもと実習事例を提出できる方を受講対象とします。**
- （２）課外実習があります。
- （３）（１）の実習事例をもとに、アセスメントシート、サービス等利用計画を作成していただきます。
- （４）本研修は神奈川県の委託により川崎市が実施するもので、川崎市内に所在地を置く事業所・施設等のみを対象としています。**（市外に所在地を置く事業所・施設等は、所在地で実施される研修を受講してください。）**

相談支援専門員として従事するためには、本研修の修了と実務経験が必要です。必要な実務経験年数等については、13～15ページ目の別紙「相談支援専門員の実務経験要件」を参照してください。

《参考・・・相談支援実習について》

申込時点で利用者へ実習協力の依頼をする必要はありませんが、実習事例を提出できない方は本研修を修了することができません。本研修のカリキュラムに実習ガイダンスの時間を設けておりますが、次ページを参考にしてください。

【実習協力者の選定について】

▼本研修の目的や意図から、次のような利用者にご協力を頂くことが望ましいでしょう。

- ① 実際に自分自身が現在進行形で関わっている利用者
- ② ケアマネジメント技法を用いた支援に適する利用者

※ ケアマネジメント技法を用いた支援については、「令和6年度川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修」でも扱う内容です。

ex) ○地域生活（在宅生活）、入所・入院からの地域移行に関する支援の対象者である
○地域の複数の社会資源を活用している（したい）利用者である
○一つ以上の障害福祉サービスを利用している（したい）利用者である

▼本研修の目的や意図から、次のような事例はできるだけ避けてください。

- ① 緊急性の高い事例、危険介入が必要な事例
- ② 本研修の期間中に関係性の構築が困難な方の事例
- ③ 本研修の期間中に会うことが困難な方の事例

7 受講料

受講料は**8,000円**です。（支払方法等詳細は、受講決定通知とともにご案内します。）

※ 川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修の受講料（2,500円）と共にお支払いいただきます。

※ 交通費等その他経費については自己負担となります。

8 テキストについて

研修では中央法規出版発行の「障害者相談支援従事者研修テキスト（初任者研修編）」を使用します。

10月29日実施の「令和6年度川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修」の演習にて配付いたします。動画配信講義及び演習のメインテキストとなります。

9 修了証書の交付、修了者名簿の管理

- （1）本研修の全日程を修了した方に、川崎市より修了証書を交付します。
- （2）川崎市は研修修了者名簿（修了証番号、氏名、生年月日、所属等）を管理します。
- （3）本研修は全日程の出席をもって修了となりますので、遅刻や早退は欠席とみなします。修了証書を交付できませんので、ご注意ください。
- （4）著しく受講態度が悪い場合（私語、居眠り、携帯電話の使用等）にも、修了証書を交付できない場合がございます。また、内容によって推薦元への連絡いたします。

令和6年度 神奈川県相談支援従事者初任者研修(川崎市) 研修カリキュラム【予定】

	日程・場所	時間		科 目	eラーニング 動画
動画 配信講義 (2日分)	10月30日(水)～ 11月18日(月) 指定の期間内に オンラインで受講	100分		相談支援(障害児者支援)の目的	3本
		190分		相談支援の基本的視点(障害児者支援の基本的視点)	3本
		60分		相談支援に必要な技術	1本
		90分	相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス	1本	
			チームアプローチ(多職種連携)	1本	
		100分		相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点	1本
		90分		障害者総合支援法及び児童福祉法の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解	1本
95分		障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支援(サービス提供)の基本	1本		
演習 1日目	11月19日(火) 総合研修センター 研修室	9:30 ～ 9:40	10分	開講あいさつ、事務連絡	相談支援実習① 受講者が関わっている支援対象者の協力を得て、【インターク・アセスメント】を行い、支援方法を整理する。 ※インターク・アセスメント 支援対象者との関係性の構築を意識し、支援対象者の本人像を全体的に把握する視点で行う。
		9:40 ～ 9:50	10分	演習ガイダンス	
		9:50 ～ 10:30	40分	受付及び初期相談並びに契約	
		10:40 ～ 11:50	70分	アセスメント(事前評価)及びニーズ把握①	
		12:50 ～ 13:55	65分	アセスメント(事前評価)及びニーズ把握②	
		14:05 ～ 17:00	175分	アセスメント(事前評価)及びニーズ把握③	
		17:00 ～ 17:30	30分	全体共有、まとめ、事務連絡	
演習 2日目	11月20日(水) 総合研修センター 研修室	9:30 ～ 9:40	10分	事務連絡、導入講義	相談支援実習② 相談支援実習①を踏まえ、【再アセスメント・ニーズ整理・サービス等利用計画の作成】を行う。 ※地域支援に関する情報収集 地域の相談支援体制、社会資源等について確認する。
		9:40 ～ 10:25	45分	目標の設定と計画作成①	
		10:35 ～ 11:35	60分	目標の設定と計画作成②	
		12:35 ～ 14:15	100分	目標の設定と計画作成③	
		14:25 ～ 15:15	50分	目標の設定と計画作成④	
		15:15 ～ 16:05	50分	モニタリングと評価	
		16:05 ～ 16:20	15分	まとめ	
		16:20 ～ 17:00	40分	課題実習①ガイダンス、事務連絡	
相談支援実習①					
演習 3日目	12月26日(木) 総合研修センター 研修室	9:30 ～ 10:00	30分	オリエンテーション、演習概要説明	相談支援実習②
		10:00 ～ 10:10	10分	グループにおける導入	
		10:10 ～ 12:00	110分	実践例の共有と相互評価①(GSVの体験)	
		13:00 ～ 16:15	195分	実践例の共有と相互評価①(GSVの体験)	
		16:25 ～ 16:50	25分	振り返り	
		16:50 ～ 17:15	25分	実習②ガイダンス、事務連絡	
相談支援実習②					
演習 4日目	1月28日(火) 総合研修センター 研修室	9:30 ～ 9:55	25分	オリエンテーション	相談支援実習②
		9:55 ～ 10:05	10分	グループにおける導入	
		10:05 ～ 11:15	70分	実践例の共有と相互評価②(ケースレビューの体験)	
		12:15 ～ 14:45	150分	実践例の共有と相互評価②(ケースレビューの体験)	
		14:55 ～ 17:00	125分	振り返り・グループによる再アセスメント、事務連絡	
演習 5日目	1月29日(水) 総合研修センター 研修室	9:30 ～ 12:00	150分	事務連絡、グループによる再プランニング	相談支援実習②
		13:00 ～ 14:20	80分	ケアマネジメントプロセスの定着	
		14:30 ～ 14:50	20分	研修の振り返り(個人課題修正)	
		14:50 ～ 15:20	30分	研修の振り返り(個人での振り返り)	
		15:20 ～ 16:30	70分	研修の振り返り(グループ)・まとめ	
		16:30 ～ 16:45	15分	閉講式・修了証書授与、事務連絡	

相談支援実習①

受講者が関わっている支援対象者の協力を得て、【インターク・アセスメント】を行い、支援方法を整理する。

※インターク・アセスメント
支援対象者との関係性の構築を意識し、支援対象者の本人像を全体的に把握する視点で行う。

相談支援実習②

相談支援実習①を踏まえ、【再アセスメント・ニーズ整理・サービス等利用計画の作成】を行う。

※地域支援に関する情報収集
地域の相談支援体制、社会資源等について確認する。

※日程・会場・カリキュラムの内容等は変更する可能性があります。予めご了承ください。

③ 初任者プレ研修・初任者研修 共通事項

1 受講者の推薦・申込み

(1) 推薦・申込みについて

- ① 法人内で窓口になる担当者をお決めいただき、インターネット上の受講申込フォームからの申込みください。
- ② 法人内にて受講希望者の優先順位を決めていただき、別途 12 ページ目の「法人内受講希望者優先順位確認書」に必要事項をご記入の上、下記事務局まで郵送ください。
- ※ 1 初任者プレ研修のみ受講希望者は、個人での申込みが可能です。
- ※ 2 申込締め切り後は一切受け付けませんので、ご注意ください。
- ※ 3 申込みの際に未記入の箇所等があった場合、受講を見送りとさせていただきます。
- ※ 4 申込みが完了すると指定のメールアドレスに申込完了メールが届きますので、必ずご確認ください。
- ※ 5 インターネットでの申し込みと、「法人内受講希望者優先順位確認書」の提出をもって、申込み完了となります。どちらかが欠けている場合は選考外となりますので、十分ご留意下さい。

(2) 受講申込フォーム

下記 URL より、必要事項をご記入の上お申込みください。

受講申込フォーム URL

https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=42

※ 下記のサイトに申込フォームへの URL を掲載いたします。

- ① 総合研修センターホームページ (URL <https://www.kensyu-c.jp/>) のトップページの「法定研修 (資格を取得・更新したい)」
- ② ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ (URL <http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>)」の「書式ライブラリ」→「3. 川崎市からのお知らせ」→「1. 川崎市からのお知らせ」

(3) 事務局住所 (書類送付先)

〒210-0024

川崎市川崎区日進町 5-1 川崎市複合福祉センターふくふく 2 階

川崎市総合研修センター「相談支援従事者研修担当」宛

(4) 申込期限

令和 6 年 9 月 20 日 (金) 午後 5 時まで

2 受講者の決定

- (1) 受講希望者が定員を上回った場合は、選考により受講者を決定します。(先着順ではありません。)
- (2) **受講決定通知(受講の可否)については、法人の取りまとめ担当者宛てに10月4日(金)頃までに送付します。期日を過ぎても通知が届かない場合には、お手数をお掛けいたしますが、事務局までご連絡ください。**
- (3) 指定相談支援事業者として「申請済み」または「申請予定あり」の事業所の方を優先的に受講決定します。受講申し込みの際にチェックに誤りがないようご注意ください。

3 その他の注意事項

- (1) 遅刻および早退は、欠席とみなします。通勤時間帯による混雑や天候を考慮の上、余裕をもってご来場ください。
- (2) 著しく受講態度が悪い場合(私語、居眠り、携帯電話の使用等)、ご退室頂きますのでご注意ください。
- (3) 本研修では研修の受講する上で支援が必要な方に対し、研修の実施及び、他の受講生の学習に支障をきたさない範囲で合理的配慮を取らせていただきます。受講にあたって手話通訳、点訳教材等を必要とする方や人員や専門性を要する直接の支援を必要とする方は、必ず受講申込フォームの「研修を受講する際に必要な配慮」に必要事項をご記入ください。なお、ご相談やご不明な点等ございましたら別途総合研修センター事務局までご連絡ください。
申込みの際の記入や事前の相談がない場合は対応できないことがございますのでご注意下さい。
- (4) 会場に駐車場はありませんので、ご了承ください。公共交通機関をご利用ください。
- (5) 研修を通して知り得た個人情報は、当該研修業務の運営及び本市における計画相談に関する施策等の推進以外に使用されることはありません。
なお、上記目的の範囲内において、事業所所在地の各区に研修修了者の情報を提供する場合がありますので、あらかじめご承知ください。
- (6) 演習実施日に、自然災害(台風等)及び事故等が発生した場合、開講しないまたは開始時刻を遅らせることがあります。その場合には、研修当日の午前9時までに、総合研修センターのホームページにその旨を掲載いたします。
- (7) **本研修はグループワークを行うため、感染症拡大防止対策から、研修中はマスクの着用にご協力をお願いします。また、体温が著しく高い方や、体調不良の方は受講をお控えくださいますよう、お願いします。**

総合研修センターホームページURL

<https://www.kensyu-c.jp/>

5 研修全般に関する問い合わせ先

【日程・会場・申込・カリキュラム内容等について】

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 総合研修センター

電話 044-223-6509 FAX 044-223-6598

電話受付時間 午前9時から午後5時（火曜～土曜。日祝日除く）

【受講対象・制度について】

川崎市健康福祉局 総合リハビリテーション推進センター 企画・連携推進課 障害者支援担当

電話 044-200-3197 FAX 044-200-3974

受付時間：月曜～金曜 午前9時～午後5時（祝祭日を除く）

演習会場のご案内

会場 総合研修センター研修室

（川崎市複合福祉センター ふくふく 2階）



住所 〒210-0024 川崎市川崎区日進町5-1

交通 JR「川崎」駅より徒歩10分
京急「八丁畷」駅より徒歩8分

令和6年度川崎市相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修

令和6年度神奈川県相談支援従事者初任者研修（川崎市）

『法人内受講希望者優先順位確認書』

本用紙は、インターネット上の受講申込フォームにて相談支援従事者初任者プレ（基盤）研修と相談支援従事者初任者研修をセットでお申込みいただいた法人に、別途提出いただく申込確認書類となります。法人担当者の連絡先及び、受講申込者の氏名・事業所名を法人内の優先順にご記入いただき、下記事務局住所まで郵送ください。

法人・団体名（※必須）	
法人・団体 代表者名（※必須）	
法人住所及び連絡先（※必須） 緊急の場合等、メールでご連絡させて 頂くこともございます。	〒 - TEL : () / FAX : () Mail:
取りまとめ担当者名（※必須）	
<u>決定通知等送付先</u> (※上記住所と異なる場合のみ記載)	〒 - TEL : ()

* 決定通知等はまとめて上記住所に送付いたします。法人住所と異なる場所への送付を希望する場合は、上記「決定通知等送付先」に送付先を記載ください（受講者ごとに異なる送付先にはできません）。

【受講申込者一覧】全受講申込者の氏名・事業所名を法人内の優先順に下の欄にご記入ください。

優先順位	受講申込名	事業所名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

【事務局住所】

〒210-0024

川崎市川崎区日進町5-1 川崎市複合福祉センター ふくふく2階

総合研修センター「相談支援従事者研修担当」

(別紙)

相談支援専門員の実務経験要件

内は、厚生労働省告示第227号（平成24年3月30日）に神奈川県として実務経験に含める業務の範囲

業務の種類	業務の範囲	必要経験年数
① 相談 支援 業務	ア 平成18年10月1日において、下記に掲げる事業等に従事しており、平成18年9月30日までの間に相談支援に従事した者 障害児相談支援事業 身体障害者相談支援事業 知的障害者相談支援事業 ・障害児（者）地域療育等支援事業 ・市町村障害者生活支援事業 精神障害者地域生活支援センター	3年以上
	イ 相談機関等において相談支援業務に従事する者 障害児相談支援事業、身体障害者相談支援事業 知的障害者支援事業 児童相談所 身体障害者更生相談所 精神障害者地域生活支援センター 知的障害者更生相談所 福祉事務所 保健所 市町村役場 その他これらに準ずる施設	
	ウ 施設等において相談支援業務に従事する者 障害者支援施設 障害児入所施設 老人福祉施設 精神保健福祉センター 救護施設及び更生施設 介護老人保健施設 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター その他これらに準ずる施設 ・身体障害者更生施設 ・知的障害者更生施設 ・身体障害者療護施設、身体障害者福祉ホーム、身体障害者授産施設、身体障害者福祉センター ・知的障害者授産施設、知的障害者通所寮、知的障害者福祉ホーム ・知的障害児施設、第一種自閉症児施設、第二種自閉症児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設（入所、通所）、肢体不自由児療護施設、重症心身障害児施設、指定医療機関（肢体不自由児、重症心身障害児） ・知的障害者地域生活援助、精神障害者地域生活援助 ・精神障害者社会復帰施設 ・市町村から補助または委託を受けている作業所等	5年以上
	エ 保険医療機関において相談支援業務に従事する者で、次のいずれかに該当する者 （１）社会福祉主事任用資格を有する者 （２）訪問介護員2級以上に相当する研修を修了した者 （３）国家資格等※1を有する者 （４）上記アからウに掲げる業務に1年間以上従事した者	

業務の種類	業務の範囲	必要経年数
① 相談支援業務	オ 就労支援に関する施設において、相談支援業務その他これに準ずる業務に従事する者 障害者職業センター 障害者就業・生活支援センター ・地域就労援助センター	5年以上
	カ 特別支援学校その他これらに準ずる機関において、障害のある児童及び就学相談、教育相談及び進路相談の業務に従事する者 特別支援学校 その他これらに準ずる機関 ・小学校、中学校の特別支援学級	

業務の種類	業務の範囲	必要経年数
② 直接支援業務	ア 施設等において介護業務に従事する者 障害者支援施設 ・身体障害者更生施設 ・身体障害者療護施設 ・身体障害者福祉ホーム ・身体障害者授産施設 ・身体障害者福祉センター ・精神障害者社会復帰施設 ・知的障害者デイサービスセンター ・知的障害者更生施設 ・知的障害者授産施設 ・知的障害者通所寮 ・知的障害者福祉ホーム 障害児入所施設 老人福祉施設 介護老人保健施設 療養病床 その他これらに準ずる施設 ・改正前の身体障害者居宅介護、知的障害者居宅介護、児童居宅介護、精神障害者居宅介護、身体障害者デイサービス、児童デイサービス ・知的障害児施設、第一種自閉症児施設、第二種自閉症児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設（入所、通所）、肢体不自由児療護施設、重症心身障害児施設、指定医療機関（肢体不自由児、重症心身障害児） ・知的障害者地域生活援助、精神障害者地域生活援助 ・市町村から補助または委託を受けている作業所等	10年以上
	イ 障害福祉サービス事業等において介護業務に従事する者 障害福祉サービス事業 障害児通所支援事業 老人居宅介護等事業 その他これらに準ずる事業	
	ウ 保険医療機関等において介護業務に従事する者 保険医療機関 保険薬局 訪問看護事業所 その他これらに準ずる施設	

業務の種類	業務の範囲	必要経験年数
③ 有資格者等	ア 上記②の直接支援業務に従事する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 社会福祉主事任用資格を有する者 (2) 訪問介護員2級以上に相当する研修を修了した者 (3) 保育士 (4) 児童指導員任用資格者 (5) 精神障害者社会復帰指導員任用資格者	5年以上
	イ 上記①及び②の業務に従事する者で、国家資格等※1による業務に5年以上従事している者	3年以上

※1 国家資格等とは、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、視能訓練士、義肢装具士、歯科衛生士、言語聴覚士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、管理栄養士、栄養士、精神保健福祉士のことをいう。

注) 1年以上の実務経験とは、業務に従事した期間が1年以上であり、かつ、実際に業務に従事した日数が1年あたり180日以上であることをいうものとする。例えば、5年以上の実務経験であれば、業務に従事した期間が5年以上であり、かつ、実際に業務に従事した日数が900日以上であることをいう。